

常任委員会レポート

総務産業委員会

旧林業試験場・赤沼試験地跡地の使用状況を確認

本委員会は、7月27日、所管事務調査を実施しました。

調査事項

(1)国立研究開発法人・森林総合研究所 多摩森林科学園 赤沼実験林の概要について

鳩山町赤沼にある、旧国有林の林業試験場赤沼試験地の跡地がどのように使用されているのか、調査いたしました。

鳩山町赤沼の現地で、旧林業試験場赤沼試験地の管理をしている、八王子市にある国立研究開発法人・森林総合研究所多摩森林科学園の庶務課長、業務課長、農学博士及び教育的資源グループ主任研究員4人の方から説明を受けました。

まず、昭和13年に林業試験場赤沼苗木事務所設置、昭和19年に常駐の苗木事務所主任を置く。昭和25年官制改正により林業試験場赤沼試験地に改称。

林業試験場は昭和63年10月に森林総合研究所に改編、名称変更され、同時に浅川実験林も多摩森林科学園に改称、また、平成13年4月に、独立行政法人森林総合研究所が発足し、平成27年4月に独立行政法人の3分類により法人名称が国立研究開発法人に分類された。

実験林の研究調査目的は

オニグルミの種子の生長、生存率、種子数、種子サイズに与える影響や

オニグルミ苗の生長を毎年記録、結実したら、種子量、種子サイズを計測すること。

昭和5年に孟宗竹が横浜で開花・結実した種子から繁殖した2株を昭和14年に赤沼試験地に移植。発芽後67年目の平成9年8月に一斉開花。今後60数年後の開花、結実、発芽を検証のため管理している。



赤沼試験地跡地で、森林総合研究所の方から説明を受ける総務産業委員

福祉文教委員会

(仮称)鳩山町結婚新生活支援事業補助金へ意見・要望する

本委員会は、7月20日、所管事務調査を実施しました。

調査事項

(1)埼玉県市町村国保広域化へ向けた現在の状況について

これは「持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律」が平成27年5月27日に成立したことによります。

この法律は、国保をはじめとする医療保険制度の財政基盤の安定化、負担の公平化、医療費適正化の推進、患者申し出療養の創設などの措置を講ずることとしており、国保への財政支援の拡充により財政基盤を強化することを目的としております。

また、平成30年度から都道府県が財政運営の責

任主体となり、安定的な財政運営や効率的な事業の確保などの国保運営の中心的な役割を担い、国保制度を安定化するとしております。

国保税率は、4方式から2方式に変えるよう検討がはじまりました。(詳しくは町民課(電話206-5891)へお問い合わせください)

(2)(仮称)鳩山町結婚新生活支援事業費補助金の検討について

少子化対策及び移住促進を目的に、国の補助金を活用して新たに婚姻した世帯に対し、住居費、引っ越し費用を支援する新たな施策として、(仮称)鳩山町結婚新生活支援事業費補助金制度を考

えております。国の補助金の結婚新生

活支援事業補助金を財源にします。

(詳しくは、健康福祉課(電話206-1241)へお問い合わせください)

委員からの質疑や意見は次のとおりでした。

「改修、リフォームについては、原則対象にはなりません。ただ、空き家対策の関係でリフォームなどの検討はしています。が、要望が強いようであれば、検討したい」

「年齢制限は、若い世代を人口誘導するということであれば、30歳か35歳ぐらいまでが良い」

など活発な意見要望等がありました。



住居費や引っ越しなどの費用を支援します

町の事業を他の市町と共同して行っています

第3回定例会が8月3日に開催されました。

鳩山町議会選出の議員の失職による補欠選挙の結果で小峰文夫議員が当選、小峰町長の副管理者就任及び現金出納検査等の報告がありました。提出された議案は平成27年度決算1件で、認定されました。

8月4日に第2回定例会が開催されました。

上程された議案は条例の制定に関するもの1件の条例の改正を求めるもの2件、平成28年度補正予算、平成27年度予算歳入歳出決算の認定などでした。

(仮称) 鳩山新ごみ焼

却施設整備・運営事業者
選定審査委員会設置条例
の制定の議案は、運営事
業の設計、建設及び運営
を行う事業者の選定を公
平かつ適正に実施するた
めのものです。

第1回組合議会臨時会
が6月16日に開催されま
した。

した。

提出された議案は2件、そのうち1件は個人

情報保護条例の一部を改正するもので質疑を経て原案通り可決されました他の1件は補正予算で130万円の追加で予算総額12億6884万3千円とするものです。

8月19日第2回定例会

が開催されました。

提案された案件は補正
予算1件、決算認定1件
です。

補正予算については、1656万5千円を追加し、予算総額を12億8540万8千円とし、予備費に、2470万8千円追加することが主な内容です。

審議の結果、2件とも
議決、認定されました。

公共下水道組合

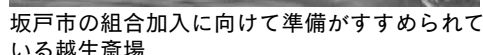
8月18日、第2回定例会が開催されました。提出された議案は平成27年度歳入歳出決算認定、条例の改正1件、補正予算1件の3件で、慎重審議の結果、3議案とも全員一致で認定されました。

なお、小峰町長の副管理者の再任の挨拶がありました。

※施設の第2期老朽化対策が始まりました。

8月18日定例会が開催
されました。

議案は、管理者、副管理者の報酬に関する条例の一部を改正する条例、議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例、平成28年度補正予算及び平成27年度歳入歳出決算認定の4議案であります。



名称	歳入額	歳出額	町負担額	借入残高	基金残高
坂戸地区衛生組合	4億2397万円	3億7942万円	2454万円	6000万円	2000万円
埼玉西部環境保全組合	25億6334万円	24億4271万円	2億103万円	6億3120万円	23億4655万円
西入間広域消防組合	14億7085万円	14億3945万円	2億9786万円	5億1580万円	9566万円
毛呂山・越生・鳩山 公共下水道組合	16億1771万円	15億5275万円	1億4533万円	65億8528万円	0
広域静苑組合	5億3355万円	5億1337万円	441万円	0	2億2370万円
合計	66億942万円	63億2770万円	6億7270万円	77億9228万円	26億8591万円